



もうちょっとだけ

今までもお伝えしてきましたが、進学塾ベルゲンという塾はここだけにしかない塾です。しかし、イベントや研修などいろいろな活動は千葉学習塾協同組合（通称 JAC）に加盟する千葉県内約 110 の塾と一緒にやっています。来月 9 日に実施される大学進学相談会も JAC が主催して 15 回目、千葉県最大の相談会となりました。東大が相談ブースを設けるのはここだけですし、千葉大は専用の部屋に学部ごとのブースがあります。今まで資料参加だった早稲田大も今年から相談ブースと全体説明会との両方に参加します。最近人気の医療系も千葉県立保健医療大が初参加するほか私立の医療系学部をほぼ網羅しています。参加校を志望する高 3 生だけでなく、これから志望校を決める高 1・高 2 もぜひご来場ください。

さてその JAC に加盟する他の塾の塾長と情報交換をしていると、毎回「その通り」と思う話が出てきます。先日もある塾長が「成績が上がる人とそうでない人の差は『もうちょっとだけ』と言う人とそう言わない人の差だよ」と話していました。最初はちょっと意味がわからなかったのですが要するにこういうことです。ゲームをしていて「もうちょっとだけ」、マンガを読んでいて「もうちょっとだけ」、LINE で話して「もうちょっとだけ」とついたらだら引きずる人がとても多いと。それに対してパッと切り替えができる人は少数派。そしてその人たちは何かを我慢する訳ではないのに成績が上がってゆくと。今までたくさんの塾生を見てきて、小中高に関わらず確かにそうだと思います。では「もうちょっとだけ」と思ってしまふ多数派の人たちはどうすれば切り替えができるようになるのでしょうか。おそらく「考え方の転換」と「習慣化」がキーワードです。ゲームは途中からでも再開できる、マンガの面白い場面は後からの楽しみにとっておく、友達との話の続きは学校で、とさっさと見切りをつけ、それを習慣にしてしまうことです。意識すれば意外と簡単に実行できるはず。さあ、楽しい GW がもうちょっとあればいいのにと思わず、パッと切り替えて 5 月の勉強を始めよう！